

様式 1

令和 5 年度「業務改善『夢』コーディネーター」取組状況報告書

磐田市立豊田南中学校

1 取組内容

CSC（コミュニティー・スクール・コーディネータ）との連携による
地域・保護者ボランティアの活用

(1) 募集方法

地域には回覧板、保護者には業務支援ツール（コドモン）による募集
文書の発信

(2) ボランティアの種類

①保護者応援団

ア 環境整備

(ア) 草取り (イ) 花壇・苗づくり (ウ) ネット補修
(エ) 学校図書館整備 (オ) 庭木剪定

イ 生活・安全指導

(ア) 登下校見守り・挨拶運動 (イ) 健康診断補助
(ウ) 読み聞かせ (エ) 面接指導

ウ 行事支援

(ア) 駐車場 (イ) 会場警備

エ 学習支援

②地域応援団

ア 環境整備

(ア) 草取り (イ) PC (ウ) 学校図書館整備 (エ) 修繕

イ 生活・安全指導

(ア) 健康診断時補助 (イ) 読み聞かせ (ウ) 面接指導

ウ 学習支援

(ア) 授業補助・支援

2 取組の成果

なかなか手が回らない草取り、月 1 回の ICT 支援の訪問、職員の勤務時間前の交通指導、顔なじみでは味わうことのできない緊張感や新鮮さのある面談練習や読み聞かせ等、生徒、教職員ともに効果があった。

また、保護者、地域による合唱コンクールにおける交通指導や会場警備は、教職員が生徒に寄り添えるため、行事に集中できた。

3 取組の課題

コロナウイルス感染症が2類から5類になり、学校の教育活動もコロナ禍以前の生活に戻りつつある。そのため、以前から盛んに行われているボランティア活動であるが、コロナ禍を経験して以前の良い面、悪い面を見直し、新たに地域に開かれた学校になるべく、手探り状態から再スタートを図った。

課題、反省は、教頭、C S Cも新任のため、勝手がわからないところが多々あったため、ボランティアをやっていただく方への連絡や依頼等、スムーズにできない点が挙げられる。また、保護者や地域が行いたいだけでなく、教職員、生徒のニーズにも合うようにしていくことで、学校という敷居が低くなり、校内に入りやすくなるとも考えられる。

来年度の教育課程の検討同様、ボランティア活動も今年度中に来年度に向けた準備を進めていきたい。今年度の取組からの課題、反省を生かし、生徒のために今年度以上に、地域に開かれた学校になるよう尽力していきたい。

※グラフ・表等可

※ファイル名は「〇〇立●●学校」とし、PDF形式にて投稿する。